

# 介助犬アトムがやってきた!



10月26日(木)に同志社大学大学院在中の館林千賀子さんと介助犬アトムくんが、音羽小学校にきてくれました。  
館林さんが交通事故にあったことによって車いす生活になったことやアトムくんとの出会い、そして自立について話していただきました。  
約1時間近く話していただいたのですが、1年生から6年生が最後までしっかりと聞くことができました。  
館林さんから2つのお願いがありました。

- 1 介助犬のことをお家の人にぜひ話してほしい。理解を上げてほしい。  
～子どもから親に伝わり飲食店に介助犬同伴ですぐに入れた店があった事例から～
- 2 エレベーターが早く閉まるので、介助犬などをつれているときはドアを長くあけてほしい。(開くボタンを押すだけでできる。)  
～アトムがドアにはさまった事例から～

館林さんは、  
「身体が不自由になってできなくなったことがたくさんあるけれども、アトムと出会って強く生きていこうという勇気がわいてきました。アトムは、私のパートナーです。障害のある人もない人も共に生きていける社会にするために、一人一人の思いやりを大切にしてほしい。」と話してくださいました。  
館林さんのお話を聞いた後、学級では、感想を発表し合うと共に一人一人にできることなどについて話し合う機会を持ちました。ご家庭においても 子どもたちといっしょに人権感覚を高める話をする機会を持っていただけるとありがたいです。

## 修学旅行(自然教室)に行ってきました。

6年生の修学旅行が今年度から3泊4日となり、行き先も福井県大野市六呂師高原となりました。楽しい修学旅行となりました。

1日目「中竜アドベンチャーランド鉱山見学」 2日目「経ヶ岳登山」 3日目「牧場体験と岩魚つかみ」



4日目「恐竜博物館・永平寺」



4日間ともお天気に恵まれて充実した自然体験ができました。2日目の登山では、それぞれが「ここまで登ろう。」と立てた目標より高い地点まで登ることができました。3日目の「牧場体験」や「岩魚つかみ」では、牛や魚にさわることを嫌がっていた子どもたちもえさをねだる牛と仲良くなったり、自分で取ったいわなを自分でさばいて食べるという貴重な体験をすることができました。  
子どもたちは、豊かな自然に触れて一回り大きく成長したように思います。



## ふれあい広場

10月30日(日)「ふれあい広場」～地域ふれあい交流事業～が行われました。「ふれあい広場」は、音羽小学校PTA主催、音羽学区自治連合会協賛で、ゲームやバザー、体験教室、作品展示会、模擬店など様々な催しが行われました。今年度は、新たにおやじの会による「ブラブラ企画」(プラとんぼ・プラばんキーホルダー)も加わり、地域の方々や音羽小学校の子どもたちでにぎわいました。



## アスベスト(石綿)は、使っていません。

8月に、本校施設のアスベスト(石綿)の検査をしていただきました。検査の結果、アスベスト(石綿)は使用されていないことが分かりましたので報告いたします。

多くの子どもを育て



アの る動をチテ学 な 現いた  
ので現学の決ヤイ・まど地在たち音  
輪問在生補めレア立たで域大だの羽  
がいもさ助てンで命、おで学い日小  
広合ホんなのジお館京世は生て常学  
がわしのだ低学世大都話、のいの校  
りせム数で学習話学教に菊方る学に  
つのぺはす年やにな育な作がボ習は  
つ連し、。や英など大つりたラや、  
あ絡ジ九現育語つの学て・くん取教  
りもに人在成きて学・い米さテリ職  
まあ募にお学ッい生龍ま作んイ組員  
すり集な世級ズまの谷すりおアみの  
。、をり話ののす方大。・らのにはほ  
ボ載まに補補。に学 読れ地協か  
ラせしな助助内ボ。みま域力に  
ンてたっ、。容ラ仏 聞すのを子  
テイ。て部曜はン教 か。方しど  
イ り活日、大 せ やても